

タイ経済指標斜め読み

(2026 年 9 月版)

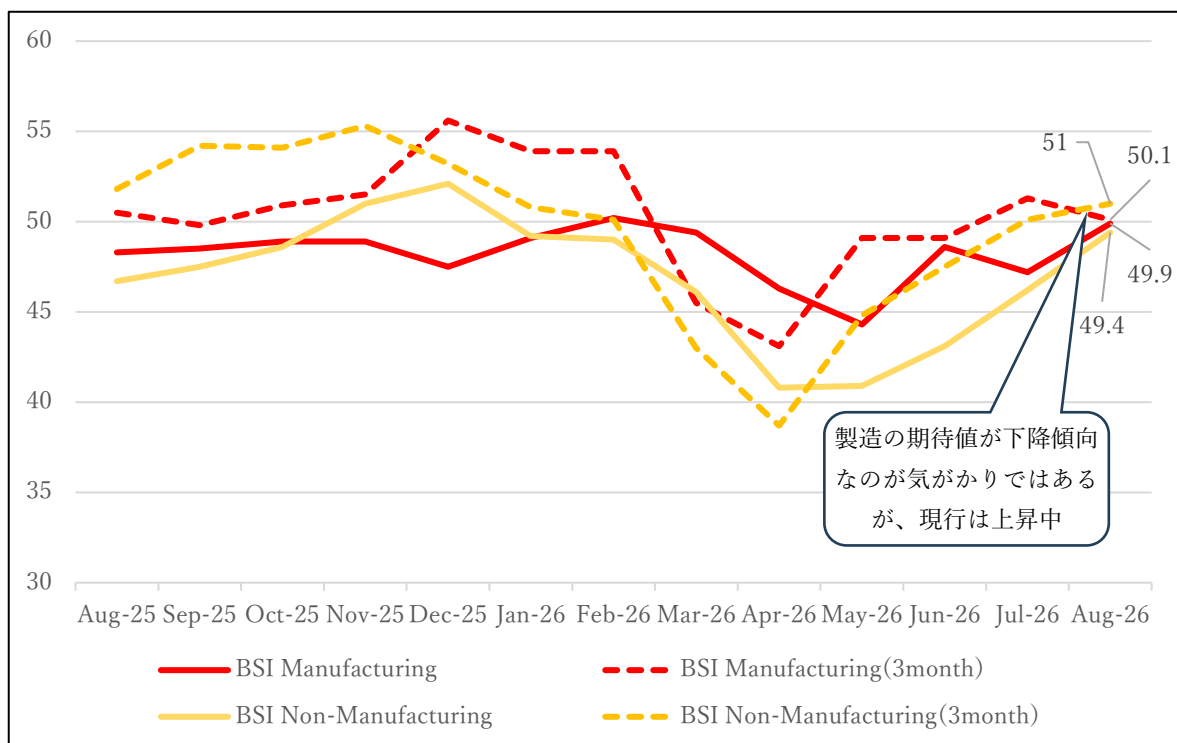
ビジネスサポート部

加藤義人

kato@mat.co.th

■No. 1 ■【指数データ】ビジネス景況感指数

タイ中央銀行（BOT）は、8月のビジネス景況感指数の製造業と非製造業ならびに同3か月後の期待値を発表した。（50＝前月から変化なし）

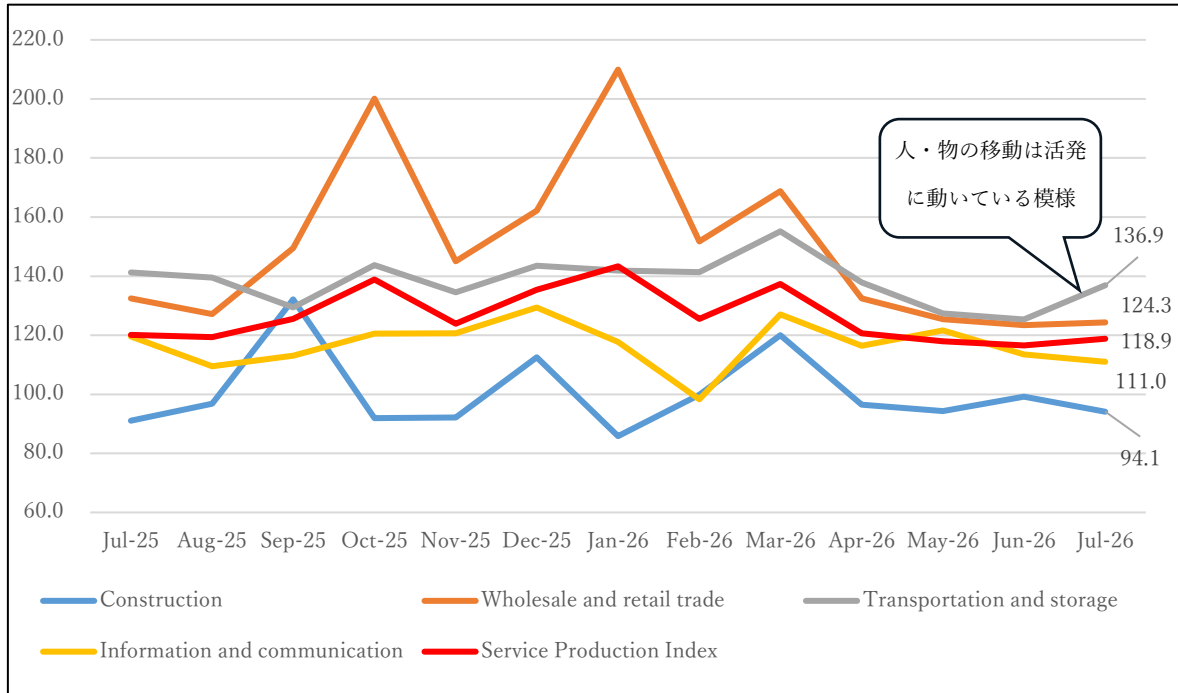


8月の製造業BSIは49.9、同3か月後の期待値は50.1、非製造業BSIは49.4、同3か月後の期待値は51となった。製造業BSIの三ヶ月後の期待値以外は全て前月から改善となった。非製造業BSIに関しては、外国人旅行客の増加とくに欧米と中国からの旅行者数が増加したことが挙げられる。また製造業BSIでは、ゴム関連で好調となっている他に、エルニーニョ現象が懸念されることから、原材料を事前に確保しようとの動きがあり増産につながった。一方、製造業BSIの三か月後の期待値の改悪要因として、米国の輸入関税の行方が不透明で、増産を懸念しているとの事であった。全体的には、改善傾向にあり、中東問題の早期解決や米国の輸入関税問題はあるが、国内消費が徐々に改善している状況にあると言える。

出所：<https://www.bot.or.th/>

■No. 2■【指数データ】サービスプロダクション指数

タイ中央銀行（BOT）は、7月のサービスプロダクション指数を発表した。（2022 = 100）

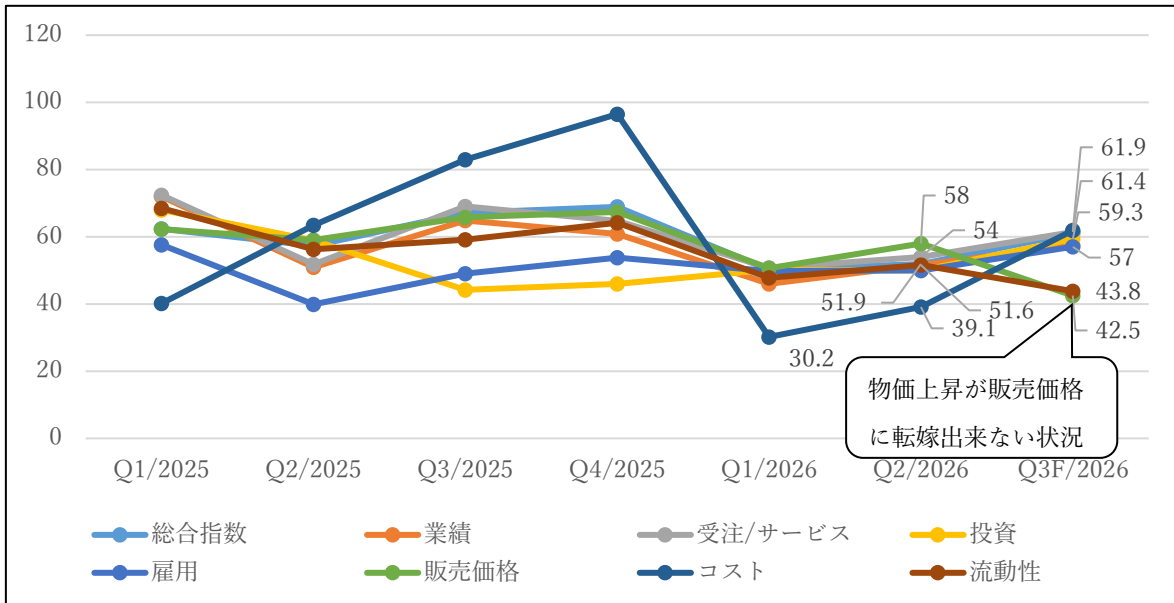


7月の同指数の全体平均は118.9となり、各業界別のトップは運輸・倉庫の136.9、次に卸小売りの124.3、ICTの111.0、最後に建設の94.1となった。当月は多少前月に比べ改善の兆しはみられるものの、全体的には下降線と言える。特にICTでは、AIやデータセンター向けは好調だが、それ以外の産業は厳しい状況にあると言える。特に建設に関しては、コンドミニアムや住宅の販売件数の減少が大きく影響している。8月に期待。

出所：<https://www.bot.or.th/>

■No. 3 ■【指数データ】 中小企業経営者景気指数

タイSME開発銀行（SME D Bank）は、2026年Q2とQ3（予測値）の中小企業経営者の景況感ならびに経済・事業状況および今後の見通しを発表した。（50＝前期と変化なし）



2026年Q2の総合指数は51.9となり、Q1の50.2から改善となった。他の指数に関しても前期から改善を示した。特にコスト指数では9ポイント近くも増加に転じた。要因として、経営者が燃料費や材料費などの見直しを行ったとのこと。次にQ3の予想だが、こちらに関しては、改善と改悪が分かれる結果となった。改善を示したのは、コスト、投資、受注/サービスで、改悪となったのは販売価格と資金の流動性となった。販売価格に関しては、消費者の財布の紐がまだ固く、価格を重視しているもよう。流動性に関しては、依然厳しい経済状況にて、企業は銀行からの借り入れなどが難しい状況にあると予想される。

出所：<https://www.smebank.co.th/>

筆者紹介：2001年にタイ日系IT企業の責任者として赴任後、バンコク日本人商工会議所、タイ邦銀支店関連子会社などで企業・経済調査などを経験し2018年MAT社に入社、現在に至る。アメリカ、香港、ミャンマー、タイなど海外在住歴は30年以上。

2026 Material Automation (Thailand) Co., Ltd. All Rights Reserved.

本データは情報提供を目的として作成されたものであり、営利を目的としたものではありません。作成時点で、MAT社ビジネスサポート部が信ずるに足ると判断した政府が発表するデータに基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。掲載内容は毎月変更されます。報道目的以外での引用・転載については当社までお問い合わせください。